

【保土ヶ谷区】令和元年第 2 回区づくり推進横浜市議会議員会議 議事録

開催日時	令和元年 6 月 6 日 午後 4 時 45 分 ～ 午後 5 時 15 分
場 所	保土ヶ谷区役所本館 2 階 202 会議室
出席者	<p>【座 長】 齊藤 伸一 議員</p> <p>【議 員： 4 名】 青木 亮祐 議員、 森 ひろたか 議員、 北谷 まり 議員、 磯部 圭太 議員</p> <p>【保土ヶ谷区： 30 名】 菅井 忠彦 区長 安藤 浩幸 副区長 伊澤 明 福祉保健センター長 小林 悦夫 福祉保健センター担当部長 秋山 禎治 保土ヶ谷土木事務所長 宮代 徹 保土ヶ谷消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和元年度保土ヶ谷区運営方針について</p> <p>2 令和元年度保土ヶ谷区編成予算 予算概要及び執行計画について</p>
発言の 要 旨	<p>議題 1 令和元年度保土ヶ谷区運営方針について</p> <p>北谷議員： 運営方針の 4 ページに「生活保護受給者」という表現があるが、現在市民向けのしおりでは「生活保護利用者」と表現が改定されている。運営方針も市民が目にするものであり、「生活保護利用者」とした方が、生活保護に対して市民の正しい理解が進むと思うがどうか。</p> <p>郷原生活支援課長： 今後は、市民向けの周知の際は分かりやすい文言としたい。</p> <p>議題 2 令和元年度保土ヶ谷区編成予算 予算概要及び執行計画について</p> <p>齊藤議員： ガイドライン検討事業について、資料では「開発等の際に配慮すべきガ</p>

イドライン」とあるが、具体的な開発を想定しているのか。

宮本区政推進課長：

具体的な想定はない。

斉藤議員：

想定はないとのことだが、受け止め方がわからない。必要があつて策定すると思うが、どのようなところから必要性が生じたのか。

宮本区政推進課長：

様々な事業が展開される中で、総合的なまちづくりを進めたい。インフラの計画をふまえ、地区の魅力向上を図るためにまちづくりの基本的な考え方を検討したい。

斉藤議員：

もう少し具体的に説明をしていただくことは可能か。

宮本課長：

例えば、都市計画マスタープランを3月に策定しているが、さらに星川駅周辺を補完するようなものを作っていく。

斉藤議員：

お手間でなければ、別途、星川駅周辺でどのような計画があるか説明いただけるとありがたい。また、区局連携事業でバス路線の検討を行うとあるが、11月から12月のアンケート調査に向けて、この半年間で何を進めていくのか。

宮本区政推進課長：

まず、バス路線のニーズについて各連合町内会にアンケートを実施する。その後、バス事業者と検討対象路線を絞り込み、路線周辺の住民の方々へアンケートを行う。

斉藤議員：

周辺の住民からすると、大型車両の往来や人の流れが変わることへの懸

念もある。保土ヶ谷区として道路局と調整を図りながら進めてほしい。

磯部議員：

区内の放課後児童クラブの基準適合の状況について確認したい。基準条例制定後5年目となるが、面積基準と耐震基準それぞれの達成見込はどのような状況か。

大吉学校連携・こども担当課長：

区内で2クラブが面積・耐震について適合していない。面積については、現在の利用状況に合わせた定員に変更することで2クラブとも適合する見込み。耐震については移転により年度内に達成できるよう進めている。

磯部議員：

クラブに対し、より一層支援を強化してほしい。区長はどのように考えるか。

菅井区長：

2クラブとも、保護者会などで物件を探しているが苦戦していると聞いている。区役所として運営委員会での情報共有、地域の協力を得るための助言、他区の取組の紹介などの支援を進めてきた。今後は更に、特に自治会町内会に協力を依頼するなど、引き続き丁寧な支援をしていきたい。

磯部議員：

最後の1年なので、クラブに対しコミュニケーションをとりながら支援してほしい。

斉藤議員：

具体的な要望もある。大事な事業であり期限も決まっているのでぜひ支援してほしい。

斉藤議員：

区役所の改修に関連し、区役所の駐輪場は20万区民の駐輪場としてはあまりにも少なく、また敷地がないわけではない。消防本部庁舎の整備を機に検討を進めてほしい。

	<p>大友総務課長：</p> <p>従来から課題である。コンコースはあるが、安全確保や区役所利用者以外の駐輪対策などの課題もあるので、管理方法も含めて専門的な知見を有する業者と相談し、不足解消に向けた改善策を検討したい。</p>
備 考	